

感染性胃腸炎の集団発生について（その1）  
（桜井小学校）

平成26年1月28日

保健予防課感染症係	
0742-27-8612(直通)	0742-22-1101(代表)
西元(3132)	榮井(3135)

1月23日（木）、桜井小学校から、下痢・嘔吐・腹痛の症状を訴える者が発生しているとの通報が桜井保健所がありました。概要は以下のとおりです。

1 経過

- 1/21 児童が嘔吐等の症状を示す
- 1/23 小学校から桜井保健所に連絡があり、桜井保健所が小学校を調査し、感染拡大防止対策を指導
- 1/24 2年生1クラスの学級閉鎖を実施
- 1/24～27 県保健研究センターにおいて3名（児童2名、職員1名）の検便を実施

2 施設

- 施設名 桜井市立桜井小学校
- 所在地 桜井市谷957 TEL：0744-42-2110
- 校長 山本 研一（やまもと けんいち）
- 児童数 201名（男：113名 女：88名）
- 職員数 17名（男：5名 女：12名）

3 症状

下痢・嘔吐・腹痛

4 発症者数（1月28日現在） 12名

- 児童 11名（男8名、女3名） 7歳～8歳
- 職員 1名（女1名） 30歳代

5 検査状況

- ・県保健研究センターにおいて、1月27日に児童2名（男1名、女1名）、職員1名（女1名）の検便を実施し、全員からサポウイルスを検出。

6 その他

- ・1月28日現在、有症者は1名（児童1名）で、軽症で快方に向かっている。
- ・保健所は、小学校に対して児童および職員の手洗いや、消毒の徹底など感染拡大防止対策の更なる徹底を指導。

サポウイルスは、感染性胃腸炎を引き起こすウイルスの一つで、ノロウイルスと近縁のウイルスです。感染力や症状について、ノロウイルスと同様といわれており、予防方法・消毒方法も同じです。

これから感染性胃腸炎が流行する時期です。十分な手洗いをこまめに行うほか、感染性胃腸炎に感染した疑いのある人の嘔吐物やふん便を処理するときには、マスクを着用の上、十分な換気のもとでノロウイルス等に有効な消毒液（次亜塩素酸ナトリウムなど）を使用しましょう。

感染性胃腸炎の集団発生について（その2）  
（<sup>いわき</sup>磐城小学校）

平成26年1月28日

保健予防課感染症係
0742-27-8612(直通) 0742-22-1101(代表)
西元(3132) 榮井(3135)

1月23日（木）、磐城小学校から、嘔吐・下痢・発熱の症状を訴える者が発生していると  
の通報が葛城保健所がありました。概要は以下のとおりです。

1 経過

- 1/23 児童が嘔吐・下痢等の症状を示す
- 1/23 小学校から葛城保健所に連絡があり、葛城保健所が小学校を調査し、感染拡大防止対策を指導
- 1/24 2年生1クラスの学級閉鎖を実施
- 1/24～27 県保健研究センターにおいて4名（児童4名）の検便を実施

2 施設

- 施設名 葛城市立磐城小学校
- 所在地 葛城市南今市61 TEL：0745-48-2041
- 校長 中谷 直子（なかたに なおこ）
- 児童数 679名（男：342名 女：337名）
- 職員数 41名（男：17名 女：24名）

3 症状

下痢・嘔吐・発熱

4 発症者数（1月28日現在） 15名

- 児童 15名（男9名、女6名） 7歳 ～ 8歳
- 職員 0名

5 検査状況

- ・県保健研究センターにおいて、1月24日～27日に児童4名（男4名）の検便を実施し、児童3名からノロウイルスを検出。

6 その他

- ・1月28日現在、全員軽快している。
- ・保健所は、小学校に対して児童および職員の手洗いや、消毒の徹底など感染拡大防止対策の更なる徹底を指導。

\*今シーズンにおける感染性胃腸炎集団発生状況（奈良市含む）

発生施設数：	17施設	〔 昨年同時期 44施設 〕
患者数：	419名	

これから感染性胃腸炎が流行する時期です。十分な手洗いをこまめに行うほか、感染性胃腸炎に感染した疑いのある人の嘔吐物やふん便を処理するときには、マスクを着用の上、十分な換気のもとでノロウイルス等に有効な消毒液（次亜塩素酸ナトリウムなど）を使用しましょう。